

地域再生計画 事後評価シート

「水清らかな美しいまち飯田」計画

平成 26年 11月

地域再生計画 事後評価シート

都道府県名	長野県	市町村名	飯田市	地域再生計画名称	「水清らかな美しいまち飯田」計画
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成26年度		

目標の達成状況	指標名		設定時	目標値	実績値	評価	※H25末 ※H26.10 ※H25末 H24末は4.4万人
	①	汚水処理施設の整備の促進（飯田市全体での汚水処理人口普及率）	81.1%	92.5%	96.5%	○	
	②	千代米川の河川の水質（BOD）	1.1mg/ℓ	0.9mg/ℓ	0.08mg/ℓ	○	
	③	体験プログラム受け入れ（民泊受け入れ戸数、雇用）	4万人/年間 (250戸、1,000名)	5万人/年間 (300戸、1,200名)	3.6万人/年間 (300戸、1,026名)	△	

支援措置を活用する事業	項目		整備量	事業費	内、交付金	実施状況
	公共下水道事業（整備延長）	計画	53.180km	6,181,000千円	1,601,500千円	平成17年度～平成21年度 φ100mm～φ300mm 下水道管布設 山本 平成20年5月30日 一部供用開始 三中 平成19年5月18日 一部供用開始
実施		54.210km	5,057,654千円	1,150,700千円		
農業集落排水施設事業（整備延長、処理場）	計画	7.128km 1施設	1,146,400千円	558,200千円	平成17年度～平成20年度 φ100mm～φ200mm 下水道管布設 平成19年度～平成20年度 処理場建設	
	実施	7.919km 1施設	994,260千円	460,560千円	平成21年4月1日 供用開始	
個人設置型浄化槽整備事業（整備基数）	計画	690基	275,040千円	91,680千円	平成17年度～平成21年度 5人槽～8人槽以上 浄化槽設置 5人槽 131基 7人槽 271基	
	実施	474基	222,145千円	74,048千円	8人槽以上 72基	

その他の事業	項目	取組み内容	実施状況
	体験教育旅行誘致事業（南信州グリーンツーリズム特区）	国内外の主に中学生を対象とした体験型研修旅行で、年間100校程度を受け入れている。 アドベンチャー系、農林業体験系、味覚体験系など11種120プログラムの様々な体験が選択でき農家ホームステイもある。	国内外の小中学生を対象とした体験型研修旅行で、年間96校を受け入れた。また、一般のグループ団体旅行などの研修旅行として、260団体を受け入れた。 アドベンチャー系、農林業体験系、味覚体験系など12種179プログラムの様々な体験が選択でき、農家ホームステイも行った。
	ワーキングホリデー（援農、UJIターン）（南信州グリーンツーリズム特区）	農業と農村に関心を持つ人と、繁忙期に手助けのほしい農家を結び、都市と農村住民がお互いの足りないところを補い合う、パートナーシップ事業である。	農業と農村に関心を持つ人と、農繁期（果樹栽培、野菜栽培、酪農）の手助けを必要としている農家を結びつけ、都市と農村住民がお互いの足りないところを補い合い、年間382名が188戸の農家に分かれて農業を体験した。
	あぐり大学院	飯田の豊かな自然や農業、食・農村文化・食文化の地域資源を活かし、食の大切さ・命の尊さを青少年へ伝えるためのセミナーで、農業教育を支えるリーダーづくりを行うとともに地域オリジナルのスローフードを全国に提案していく。	大学院を受講した者5名が中心となり「あぐりの会」を結成し、平成17年度から「あぐりの田んぼ学校」を開講。毎年、小学校1校、保育園2園 合計140名程度の子供に対して、年9回の講座を行い、米作りの実践として、籾まきから脱穀までの食農教育を実践している。特に田植えと稲刈りは親子での体験とし、食や命の大切さを親にも伝えている。
	南信州観光公社	旅行者と地域資源（自然・人・歴史・文化・産業）の間の仲立ちで、体験を柱とする新しい旅を満喫してもらう企画提供をするための官民一体の組織である。	旅行者と地域資源（自然・人・歴史・文化・産業）の間の仲立ちで、体験を柱とする新しい旅（ほんものの感動）を満喫してもらえるように、官民一体（下伊那15市町村と民間企業・団体）の組織として、企画提案を行っている。

総評及び今後の方向性	<p>それまで地域活性化策として積極的に取り組んできた「南信州グリーンツーリズム特区」、「体験教育旅行誘致事業」、「ワーキングホリデー」等の事業と汚水処理施設整備事業を一体的に進める事で「水清らかな美しいまち飯田」を目指す取組みができました。本地域再生計画の目標とした指標のうち、汚水処理施設の整備の促進、千代米川の河川の水質は実績値において目標を達成することができました。体験プログラム受け入れについては目標値に届かなかったが、効率的な施設整備により住民の生活環境の改善や農村環境の保全がなされ、快適で魅力ある地域の活性化に寄与したものと思われる。本計画終了後も管路整備等事業を進めてきたが、平成25年度末をもって概成し、今後は下水道施設機能の維持・向上を図り、安定経営を確保し公共用水域の水質保全と安心安全で快適なまちづくり、目指す都市像「文化経済自立都市」の実現を進めます。</p>
------------	--

汚水処理施設整備交付金による 施設整備の整備箇所

指標名	設定時	目標時	実績時
汚水処理施設の整備の促進 (飯田市全体での汚水処理人口普及率)	81.1%	92.5%	96.5%



指標名	設定時	目標時	実績時
体験プログラム受け入れ	4万人/年間	5万人/年間	3.6万人/年間
民泊受け入れ戸数	250戸	300戸	300戸
雇用者数	1,000名	1,200名	1,026名

指標名	設定時	目標時	実績時
千代米川の河川の水質(BOD)	1.1mg/ℓ	0.9mg/ℓ	0.08mg/ℓ

凡 例	
	地域再生計画で整備した区域 (交付金)
	公共下水道区域 (補助金で整備中の区域)
	公共下水道区域 (補助金で整備済みの区域)
	農業集落排水区域 (補助金で整備済みの区域)
白地	地域再生計画で整備した浄化槽区域 (交付金)